



～音楽が紡ぐ“緑”～



花と緑と音楽のおもてなし

花・假屋崎省吾

広響名曲コンサート

音楽の花束

春-秋-冬

巨匠たちのドヴォルザークと3大ヴァイオリン協奏曲

「名曲」—それは、ミューズ(音楽の女神)の世界に咲く多彩な花々。名曲の数々を花束にしてお届けする年3回のシリーズ。

2019年度は巨匠、名匠と呼ばれ愛されるマエストロと今聴いておきたい旬のヴァイオリニストのコラボレーションです。あなたの大切な方と一緒にどうぞ。



SPRING
香しきメンデルスゾーンと
汐澤安彦、躍動の7番



AUTUMN
情熱のチャイコフスキーと
秋山和慶、郷愁の8番



WINTER
喜びのブラームスと
飯守泰次郎、奔流の新世界



2019 5.12 [日] 15:00 開演
(14:00 開場)

指揮：汐澤 安彦
ヴァイオリン：高木 凜々子

ウェーバー
歌劇「魔弾の射手」序曲

メンデルスゾーン
ヴァイオリン協奏曲ニ長調 Op.64

ドヴォルザーク
交響曲第7番ニ短調 Op.70

2019 11.4 [月・休] 15:00 開演
(14:00 開場)

指揮：秋山 和慶
ヴァイオリン：金川 真弓

ウェーバー
歌劇「オベロン」序曲

チャイコフスキー
ヴァイオリン協奏曲ニ長調 Op.35

ドヴォルザーク
交響曲第8番ト長調 Op.88

2020 2.2 [日] 15:00 開演
(14:00 開場)

指揮：飯守 泰次郎
ヴァイオリン：大江 馨
ナビゲーター：假屋崎 省吾

ウェーバー
歌劇「オリエンテ」序曲

ブラームス
ヴァイオリン協奏曲ニ長調 Op.77

ドヴォルザーク
交響曲第9番ニ短調「新世界より」Op.95

会場 広島国際会議場フェニックスホール

International Conference Center Hiroshima Phoenix Hall
広島市中区中島町1-5(平和記念公園内) TEL:082-242-7777

料金(1回分) [税込・全席指定]

S席/4,200円(ペア6,400円) A席/3,200円

B席/2,200円 学生/1,500円(広響事務局のみ取扱い)

※学生席は小学生以上、25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみ取扱い)

“あなただけのマイシート” 名曲コンサートへは、1回券より断然お得な会員がおすすりです!

料金(3回分) S席/8,800円 A席/6,700円

お申し込みは広響事務局までお電話ください。(5月11日まで受付)

主催：広島市・公益財団法人広島市文化財団
公益社団法人広島交響楽協会・中国新聞社

春公演特別協賛：中国電力

秋公演特別協賛：合人社グループ

協賛：株式会社 花満・広島県医師会・広島市医師会

お問い合わせ：広響事務局 Tel.082-532-3080
[受付時間/平日 9:00~17:20]

※就学前のお子様の入場はご遠慮ください。
※やむを得ぬ事情により出演者・曲目等を変更する場合がございます。

チケット取扱い 発売日：[春]=3/4(月)[秋]=5/13(月)[冬]=11/5(火)

エディオン広島本店、福屋八丁堀本店プレイガイド、福屋広島駅前店チケットサロン
アルパーク天満屋チケットサロン、広島アーツ楽器、
ヤマハミュージック広島店管弦打楽器売場、
JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ、
中国新聞社読者広報部、中国新聞販売所(取り寄せ)、広響事務局
チケットぴあ(Pコード= [春] 142-519[秋]142-520 [冬]142-521)
ローソンチケット(Lコード= [春]62706 [秋]62710 [冬]62719)

※Pコード、Lコードは公演により異なりますのでご注意ください。

beyond
2020

音楽の花束

- 春 - 秋 - 冬 -

SPRING

指揮：汐澤 安彦

Yasuhiko Shiozawa, Conductor

東京芸術大学器楽科卒業、同専攻科修了。トロンボーンを山本正人、指揮を金子登の各氏に師事。当初、バストロンボーン奏者として読売日本交響楽団に在団、傍ら桐朋学園において斎藤秀雄氏より指揮法を学ぶ。1973年、民音指揮コンクール(現・東京国際音楽コンクール指揮部門)第2位。1975年、渡欧。ベルリン音楽大学、カラヤンアカデミーに学ぶ。帰国後、オーケストラ、吹奏楽、オペラ、合唱の各界で活躍。中でも、オペラ「夕鶴」(團伊玖磨作曲)の指揮は数多い。これまで、東京佼成ウインドオーケストラ、二期会合唱、東京吹奏楽団など、各常任指揮者を歴任。また、東京音楽大学シンフォニックウインドアンサンブル指揮者として永年、その任にあった。1999年、日本吹奏楽学会/第9回日本吹奏楽アカデミー賞(演奏部門)受賞。2014年、2017年、再度、ベルリンフィルハーモニーホールにて、日独親善友好「第九コンサート」を指揮。東京吹奏楽団名誉指揮者。東京音楽大学名誉教授。

ヴァイオリン：高木 凜々子

Ririko Takagi, Violin

3歳よりヴァイオリンを初める。2004年第6回日本演奏家コンクール、第6回洗足学園ジュニアコンクール、2005年第8回全日本ジュニアクラシックコンクール、それぞれ小学生部門第1位。2008年第62回全日本学生音楽コンクール全国大会第3位。第26回かながわ音楽コンクール、第4回横浜国際音楽コンクール、第64回全日本学生音楽コンクール東京大会、それぞれ中学生部門第1位。2010年ヤマハ音楽振興会最年少音楽奨励学生。2012年夏、ベートヴェン国際コンクール第1位。ザルツブルグモーツァルトウムサマーアカデミーに奨励学生として参加。2014年第1回ユーロアジア国際音楽コンクールin Italy第1位。2016年第1回ユーロアジア国際音楽コンクールin Spain第1位。7月 第1回シュロモニツ国際コンクール第3位 9月 第1回バルトーク国際コンクール第2位。5月 ニューヨーク総領事館にてリサイタル開催 コシュニカ財団よりキャリアグラント賞受賞。8月第16回 東京音楽コンクール第2位・聴衆賞 2018年度ローム音楽奨励学生。東京藝術大学音楽学部卒業(予定)

指揮：秋山 和慶

Kazuyoshi Akiyama, Conductor

1941年生まれ。アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督(現在桂冠指揮者)、シラキース響音楽監督、東京響音楽監督・常任指揮者、大阪フィル首席指揮者、札幌響首席指揮者/ミュージック・アドバイザーを歴任。これまでにサントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、大阪府民劇場賞、大阪芸術賞中国文化賞(広島)をはじめ、東京交響楽団とともに毎日芸術賞、京都音楽大賞、モビル音楽賞を受賞。2001年紫綬褒章、2011年旭日小綬章を受賞。2014年度文化功労者に選出、また中国文化賞(広島)、徳島県表彰特別功労賞を受賞。2015年渡邊暁雄音楽基金特別賞を受賞。現在、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者、洗足学園音楽大学教授、京都市立芸術大学客員教授を務めている。

ヴァイオリン：金川 真弓

Mayumi Kanagawa, Violin

ドイツ生まれ。4歳から日本で名倉淑子に師事し、ジュリアード音楽院プレコレッジで川崎雅夫、ロサンゼルス・スクールのロバート・リップセットに師事。現在はベルリンのハンス・アイスラー音楽大学でコリヤ・ブラッハーのもと研鑽を積む。2018年ロコンティボー国際音楽コンクール第2位入賞&最優秀協奏曲賞受賞、2016年プリンセス・アストリッド・コンクール優勝、2013年ヤッシャ・ハイフェッツ国際ヴァイオリン・コンクール優勝。これまでに、ハンス・リントック指揮フィンランド放送響、アレクサンダー・シュリー指揮ドイツ・カンマーフィルのほか、マリンスキー劇場管、ブラハ放送響、クレメラータ・バルティカ、リトアニア国立響、ロサンゼルス室内管等と共演し、ヴェルビエ、イエロー・バーン、アスペン等の音楽祭にも出演している。使用楽器は、ドイツ演奏家財団のドイツ国家楽器基金から貸与されたベトラス・グアルネリス(マントヴァ、17世紀後半製)。

photo credit : Francisca Blaauboer

AUTUMN

WINTER

指揮：飯守 泰次郎

Yasujiro Iimori, Conductor

現在、仙台フィルハーモニー管弦楽団の常任指揮者、東京シティ・フィル桂冠名誉指揮者、関西フィル桂冠名誉指揮者を務める飯守泰次郎は、桐朋学園で学んだ後、ヨーロッパで研鑽を積み、ハンブルク州立歌劇場などの指揮者を歴任、オペラ指揮者として確固たる実績を築き上げる。また、1970年からはバイロイト音楽祭の音楽助手として数々の歴史的公演に加わり、当時バイロイト・フェスティバル総監督であったヴォルフガング・ワグナー氏から絶大な信頼を得た。90年代より国内での活動を再び活性化させ、名古屋フィル常任指揮者、東京シティ・フィル常任指揮者、関西フィル常任指揮者、新国立劇場オペラ部門芸術監督を歴任。古典派からロマン派にかけてのレパートリーを根幹に、意欲的な活動を展開。これまでに2010年11月旭日小綬賞、2012年度日本芸術院賞、2014年度第56回毎日芸術賞などを受ける。また、2012年度の文化功労者に選ばれ、2014年12月には日本芸術院会員に選ばれた。

photo credit : 武藤卓

ヴァイオリン：大江 馨

Kaoru Ohe, Violin

仙台市出身。5歳よりヴァイオリンをはじめ、桐朋学園大学ソリストディプロマコース、慶應義塾大学法学部を経て、現在ドイツのクロンベルクアカデミーにてクリスチャン・テツラフ氏に師事し研鑽を積む。その傍ら日本およびヨーロッパにおいてソロや室内楽の演奏活動を精力的に展開している。これまでに渋谷由美子、堀正文、漆原啓子の各氏に師事。室内楽を山崎伸子氏、磯村和英氏に師事。2013年第82回日本音楽コンクール第1位、併せて岩谷賞(聴衆賞)、黒柳賞、レウカディア賞、驚見賞、増沢賞を受賞。ほか第63回全日本学生音楽、第6回横浜国際音楽コンクール、第14回日本演奏家コンクール、ザルツブルクモーツァルト国際室内楽コンクール2013において第1位を獲得。平成26年度横浜文化賞芸術・文化奨励賞を受賞。これまでに山下一史、円光寺雅彦、尾高忠明、山田和樹、川瀬賢太郎、鈴木織衛各氏等の指揮でNHK交響楽団、東京フィル、新日本フィル、東京交響楽団、東京シティ・フィル、セントラル愛知、神奈川フィル、横浜シンフォニエッタ、仙台フィル、群馬交響楽団等と共演。使用楽器は文京楽器の協力のもと、Beare International SocietyよりJ.B.Vuillaumeを貸与されている

photo credit : Shigetou Imura

華道家：假屋崎 省吾

Shogo Kariyazaki

華道家。Kariyazaki Flower Professional Education School 主宰。美輪明宏氏より「美をつむぎ出す手を持つ人」と評され、空間の魔術師とも呼ばれる。女子美術大学・特別招聘教授、日仏交流フランス観光親善大使、オランダチューリップ大使などを務め、着物、ジュエリー、スカーフ、ガラス器、アーティフィシャルフラワー、棺、骨董などのデザインおよびプロデュースをおこない、数多くのブランドを立ち上げ絶大な人気を集めている。ライフワークでもある花と建物のコラボレートとなる個展「歴史的建築物に挑む」を開催、日本の城郭を花で彩る個展「名城シリーズ」も好評を博している。昨年、シンビジウムの花を7585個使った「世界で最も多いコサージュ展示」の世界ギネス記録にも認定された。また、世界各国で個展やデモンストレーションを開催し、海外でも目覚ましい活動を展開している。その他、ボランティア活動の一環として、「花育」「少子化問題」「伝統工芸品の振興促進」などの地域活性も積極的に取り組み、華道歴35周年・還暦を迎え、益々活躍の場を広げている。

假屋崎 省吾 オフィシャルサイト <http://kariyazaki.jp/>

■ 会場アクセス 演奏会へはできるだけ公共の交通機関でお越しください。

JR広島駅から……

【路線バス】所要時間:約20分

南口バスのりばA-3 ホームより、広島バス 24号線吉島営業所または吉島病院行「平和記念公園」下車すぐ

【市内電車】所要時間:約25分

広島港①行「袋町」下車、徒歩約10分/西広島②、江波⑥、宮島行「原爆ドーム前」下車、徒歩約10分

【タクシー】所要時間:約15分

